



調べる

考える

解決する

 静岡県立中央図書館
本の道しるべ▶▶▶ 18

漢詩の出典を調べる

「自宅の掛軸に書いてある漢詩が、誰の詩でどう読むのかを調べたい。」「小説の中で引用されていた漢詩の全文を読みたいのですが、詩の題が分からず探せません。」

当館には、このような漢詩の出典を調べたいという質問がときどき寄せられます。現在では主に海外の研究機関により漢詩のデータベースが公開されています。

ここでは、漢詩の出典を調べるのに役立つ資料やデータベースをご紹介します。

当館は皆様の「調べる」をお手伝いします。

ご不明な点がありましたらレファレンスカウンターの職員にお気軽にお尋ねください。

○ 図書資料で調べる

作者やどの時代に作られたものかが分からないときには、語句から引ける資料で調べてみましょう。

漢詩の事典 [大修館書店 1999年] (当館請求記号 921.03/マ)

「漢詩の世界」「詩人の詩と生涯」「名詩のふるさと(詩跡)」「漢詩を読むポイント(用語)」「引用訓読漢詩の原文と出典」の5部から成る、漢詩の総合的な鑑賞情報辞典です。この中でとくに「名詩のふるさと(詩跡)」の部分は、巻末の総合索引と組み合わせ、「名所」から出典を調べるのに使うことができます。漢詩の鑑賞辞典としては、ほかに『中国名詩鑑賞辞典』(921/ヤマ)★書庫や、『宋詩鑑賞辞典』(921.5/マエ)★書庫、『校注唐詩解釈辞典』(921.43/マツ)などがあります。

漢詩名句辞典 [大修館書店 1980年] (921/カマ)★書庫

中国及び日本の漢詩名句1,109を4つの主題に分類して収録しています。各句ごとに読み方、解釈、鑑賞を付し、原詩も掲載されています。巻末に詩句索引、作者別詩題索引、語句索引があります。

大漢和辞典 修訂第2版 [大修館書店 1989年] (813.2/和)★参考図書コーナー

全13巻と別巻2冊からなる日本最大の漢和辞典で、約5万の親字と約53万の熟語を収録しています。熟語については、詩経・論語から明清小説まで、つまり清代以前の、詩を含めたあらゆる古典作品から用例を選んでいるため、詩の中の熟語(特に、特徴的な熟語)からその出典である詩(ある程度有名な漢詩に限られます)を調べることができます。熟語から調べる際は、別巻の語彙索引を使って調べるのが便利で簡単です。

作者や題名、どの時代に作られたのかわかっている場合は、作者個人の作品集、時代別の作品集やその索引から調べることができます。

漢詩大観 [関書院 1936年] (921.08/ヤ)★書庫

上中下の3巻に、古詩源・古詩賞析・陶淵明集・玉台新詠・唐詩選・三体詩・李太白(李白)詩集・杜少陵(杜甫)詩集・王右丞(王維)詩集・韓昌黎(韓愈)詩集・白樂天(白居易)詩集・蘇東坡(蘇軾)詩集・黄山谷(黃庭堅)詩集・陸放翁(陸游)詩集・宋詩別裁集の詩を訓読文で収めています。宋代以前の著名な詩人の詩を収録している資料です。収録している詩の出典を調べるのにとりわけ重宝するのが2分冊の索引で、詩中の句の最初の1字から調べることができます。

全梁詩索引 [白帝社 2000 年] (921.4/㊦)

六朝詩の盛んだった梁代の詩を、詩の中の1字から調べることができます。索引のほかに、詩の本文や作者詩題一覧も収録しているため、この1冊で出典調べから本文確認まで行えます。なお、全梁詩については、広島大学中国文学語学研究室のウェブサイトにデータベースが公開されており、語句と詩題によって検索できます(同ウェブサイトにはほかに蘇洵蘇軾詩検索のデータベースもあります)。

⇒ <https://cbn.hiroshima-u.ac.jp/>

唐詩選三体詩総合索引 [禅文化研究所 1991 年] (921.43/㊦) ★書庫

唐詩選・三体詩(三体とは七言絶句・七言律詩・五言律詩)という唐詩選集の索引です。詩中の語句から調べることのできる語句索引と作者別詩題索引があるほか、前半に本文(白文)を収録しているため本文確認まで行えます。唐詩選・三体詩とも**漢詩大観**に含まれているので、資料を使い分けることで漢詩を幅広く調べることができます。

東瀛詩選本文と総索引 [勉誠出版 2007 年] (919.5/㊦) ★書庫

『東瀛詩選(とうえいしせん)』とは、清代の学者である俞樾が江戸時代を中心に明治初期までの日本人の漢詩を選び詩人別に編集したものです。掲載する詩人の数は530人以上、詩の数は5,300首以上です。本文を白文で収録した本文編1冊と、詩の中の1字から調べることのできる索引編3冊から成っており、この資料で漢詩の出典調べから本文確認まで行うことができます。

新註墨場必携 新版 上、下巻 [名跡刊行会 2010 年] (728.4/㊦) ★書庫

「墨場必携」とは、書家が漢詩や和歌などから名言・名句を選んで作品を書く際に使う参考書です。逆に考えれば、掛軸などに書かれている漢詩は「墨場必携」によって調べられる可能性が高いとすることができます。他の「墨場必携」の類の資料には、索引が付いていないため、やや調べにくいものもありますが、この資料の上巻には巻末に**音読索引**があり、冒頭2字の音読みで探すことができます。

○ インターネット上のデータベースで調べる

インターネット上には漢詩のデータベースが公開されています。ただ、中国や台湾のウェブサイトが多く、説明もすべて中国語なのが難点です。文字化けをしてしまう場合は、ブラウザの表示用文字コードの設定を繁体字中国語(Big5)に変えてみてください。

【寒泉】古典文献全文検索資料庫 [故宮版(台湾)]

台湾の漢籍データベースで、漢詩では全唐詩、そのほか十三経や資治通鑑、紅樓夢、四庫総目などの漢籍データを収録しています。本来は繁体字中国語(Big5)によって検索するものですが、旧字体を使ってもある程度検索することができます。

⇒ <http://skqs.lib.ntnu.edu.tw/dragon/>

※個人ウェブサイト「睡人亭」(<http://www.shuiaren.org/chuden/toyoshi/kansen/>)内にマニュアルあり。

漢籍電子文献 瀚典全文検索系統 [中央研究院歴史語言研究所(台湾)]

台湾の中央研究院の提供している漢籍データベースで、歴代の楽府(がふ)や歌詞を収める楽府詩集の漢詩データのほか、二十五史や十三経などの漢籍データを、やはり旧字体である程度まで探すことができます。

⇒ <https://hanchi.ihp.sinica.edu.tw/ihp/hanji.htm>

※個人ウェブサイト「睡人亭」(<http://www.shuiaren.org/chuden/toyoshi/sinica/>)内にマニュアルあり。